

Field ResearcherS corporation

FRSコーポレーション株式会社





Message from FRS ～ 僕らが伝えたいこと ～

僕たちの会社の名前は FRS コーポレーションといいます。FRS は、Field ResearcherS の頭文字 F と R、そして複数系の S から名付けており、その「S」の先には、「corporate＝一つになる」という気持ちを込めています。

なぜなら、専門家が集まる組織では個々の知識と技術に依存した個人プレーになりがちで、チームワークが欠ける傾向があるものですが、僕らは、異なる技術を持つ人々やチームが力を合わせて素敵な融合をした時にこそ、より良い結果が生まれ続けると信じているからです。

会社の創業時、僕たちの目線から望むことの出来たフィールドは、「野山」でした。野山を調査し、正しい情報を提供することが我々の責務だと考えていました。もちろん、このことは、これからも大切に育んでいきます。

しかし、時が流れて、僕らを取り巻く環境は目まぐるしく変化しており、僕らもまた、より広い世界を捉える必要が出てきていると感じています。

いま世界では、多くの企業が SDGs（Sustainable Development Goals：持続可能な開発目標）を掲げ、この豊かな生活を、より自然と調和しながら継続するための活動を始めています。

無償のボランティアや寄付ではなく、本業そのものに SDGs の考え方を組み込むことを前提としており、事業を行って企業が収益をあげることが、同時に社会や地球環境の改善に繋がるというビジネスモデルが求められているのです。

だからこそ、僕たちの企業活動がさまざまな分野の皆さまとネットワークを結ぶことによって、より良い未来を創造する力になれると確信しています。僕たちが求められるフィールドは、いまどんどん広がりを見せています。

多くの皆さまと笑顔あふれる未来を創造できることを楽しみにしながら、働く仲間や企業の皆さまに「共感」して頂ける企業として、成長を続けたいと願っています。

CREATING A FUTURE FOR FULL OF SMILES 笑顔あふれる世界が続きますように！



自然環境調査



その地域の動植物相や生態・生息環境などを把握するため、最適な手法で調査を行っています。また、河川水辺の国勢調査およびそれに準拠した調査も行います。

【動物部門】

- 両生類・爬虫類・哺乳類調査(コウモリ類含む)
- 一般鳥類・猛禽類調査
- 船舶レーダーを用いた鳥類調査
- 陸上昆虫類調査
- 魚類調査
- 底生動物調査

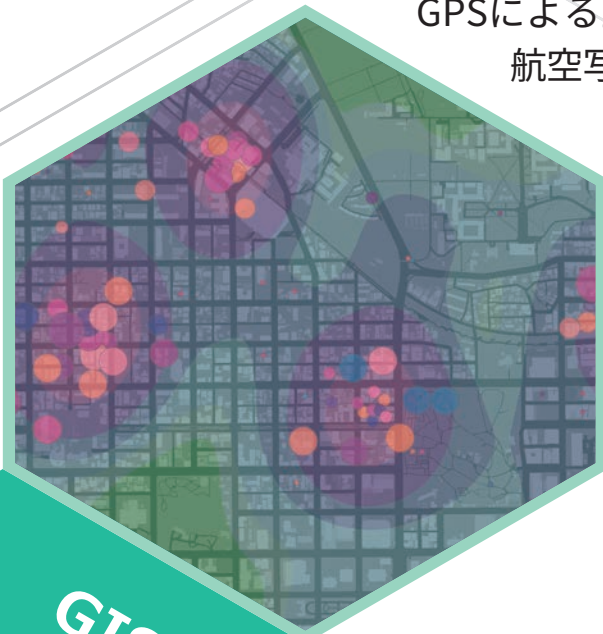
【植物部門】

- 植物相調査
- 群落組成調査
- 断面図作成調査(簡易測量含む)
- 植生図作成調査
- 毎木調査

【その他】

- 高所作業
- 環境アセスメント(生物環境)のサポート
- 自然環境保全・復元のサポート

GPSによる正確な位置データを取得、空中写真、航空写真、その他様々なGISデータから情報を集積し、空間的な解析・処理を行うことによって新たな情報の発見へ。



GIS

【GISの業務例】

- GISによる環境情報の整理および作成
- 植生図作成
- デジタルステレオ実体視による写真判読・GISデータ作成
- 野生生物空間解析
- その他実務作業に係るGISの技術支援等
- 河川水辺の国勢調査システムデータ変換

希少動植物等の調査結果をGISデータにし、様々な形式の図面を作成するだけでなく、その先の空間解析までサポートしています

写真のない一部地域では、ドローンによる撮影、簡易オルソすることで詳細な写真を取得できます。さらに、デジタルステレオ実体視による写真判読から詳細な植生図を作成します

風力発電事業や空港建設・拡張事業においては、バードストライクを軽減するためのアセスメントとして、弊社では船舶レーダーを用いた調査をご提案しています。

【レーダー調査の特徴】

- 視界不良時や夜間でも観測が可能
- 大型個体や群れだけでなく小鳥類の補足も可能（設定条件による）
- 画面上に映し出された移動軌跡から鳥の飛翔経路・高度が検出可能

【運用例】

- 渡り鳥の調査
- ねぐら入り、採餌場への移動等群行動の確認調査
- コウモリの飛翔経路の確認調査

数千・数万羽単位の渡り鳥の行動・出入り状況を一度に確認することができます。また、夜間や霧などで目視確認が難しい時間帯においても行動を把握することができます。さらに、目視・計測が困難な高高度でのデータ取得も可能です



レーダー

航空レーザ測量や写真測量では計測困難であった場所、人の立ち入れない場所などにおいて、詳細な3次元データを短時間に容易に計測することが可能です。

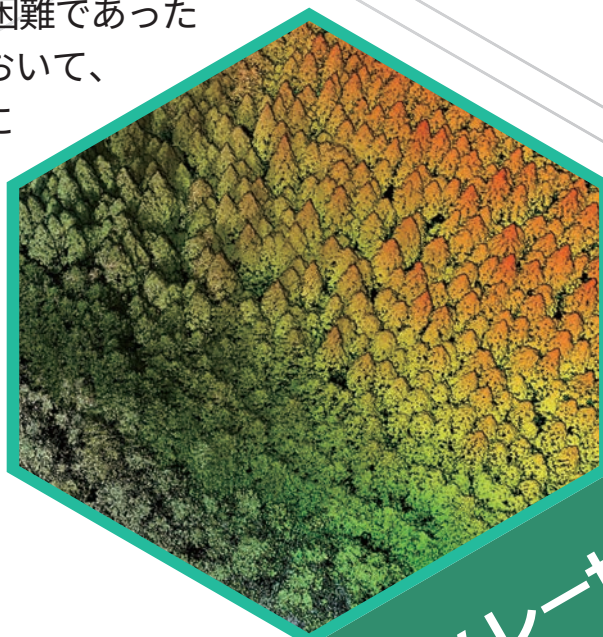
【UAVレーザの特徴】

- 50ha未満なら航空レーザよりもお得に計測できます
- 航空機よりも低空を飛行するので雲の影響を受けずに計測できます
- 機材が少なくコンパクトなので移動が容易にできます
- プロジェクトの様々なシーンに合わせてデータ処理を行なえます

【活用分野】

- 災害（斜面崩壊、地すべりなど）
- 土木建設（ICTの活用、i-Constructionなど）
- 河川管理（治水のための河畔林調査など）
- 森林管理（精密林業、風倒木被害など）

UAVレーザの活用分野は沢山あります
アイデア次第で様々な分野に活用できます



UAVレーザ

ドローン



小型の無人航空機（UAV：Unmanned Aerial Vehicle 通称ドローン）を利用した、安価で高画質・高解像度の航空写真・動画撮影を行なっています。

【概要】

- 当社で使用しているドローンは自律飛行が可能で、あらかじめ設定した飛行ルートを自動的にトレースしながら飛行して戻ってきます
- 海岸や断崖など足場が確保できない場所や、撮影者が立ち入り不可能な場所での遠隔操作による撮影調査業務に機動性を発揮し、調査圧を軽減することができます
- 搭載する機器は、デジタルカメラやビデオカメラの他に、近赤外線カメラやマルチスペクトルカメラ、サーモカメラ、3Dレーザスキャナ等に変更することによって、様々な用途に利用できます
- 自然環境調査や i-Construction、環境教育の他に各種イベントなどにも対応可能です

自然や生きものの面白さを伝えるため
NPO法人や団体、企業と協力して
一緒に楽しむイベントを創っています。



環境教育

【活動内容】

- 自然の存在や多様さに気づいて、学ぶことのできる自然体験・野外観察会を実施します
- 小・中学校や地域の皆様などを対象に、専門的な知識を持ったスタッフが、皆様の元に出向いて授業を実施したり、学習のアシスタントを行います
- 学校や地域で学びたい内容を事前に相談していただくことで、オーダーメイドの講座を行なうことができます
- 自然への興味や関心を高めることを目的として、実物標本などの資料を作成します。また、環境に関する学習プログラムを企画・作成していきます
- 北海道の豊かな大自然をフィールドとして、楽しみながら学べるエコツーリズムを開催します

【協力団体】

- えこりん村
- 手稲さと川探検隊
- ゆうべつアウトドアクラブ(YU-PAL)
- 特定非営利活動法人Kacotam
- NPO法人 当別エコロジカルコミュニティー

社 名 FRS コーポレーション株式会社
代 表 者 徳島 秀彦
設 立 2009年4月
資 本 金 3,000万円 (2024年3月31日現在)
役 員 代表取締役 徳島 秀彦
取 締 役 間瀬 彩佳
取 締 役 齋藤 健一

従 業 員 数 46名 (2024年3月31日現在)

本 社 所 在 地 〒060-0005
札幌市中央区北5条西18丁目2-2
TEL 011-206-9947 FAX 011-206-9948
<https://www.frs-co.jp/>

東 北 営 業 所 〒981-1234
宮城県名取市箱塚1-2-40
TEL 022-725-7165 FAX 022-725-7166

Cafe&Bar Sa Salu 〒540-0003
大阪府大阪市中央区森ノ宮中央2丁目1-70
もりのみやキューズモール BASE 2F
まちライブラリー内
TEL 06-6867-7720
<https://sasalu.fun>



会社概要



The cover features a central logo composed of four interlocking, stylized 'S' shapes in shades of green and dark green, set against a light gray background. The logo is surrounded by several overlapping geometric shapes: a light green square in the top left, a dark green pentagon in the top right, and several light gray polygons in the middle and bottom. The text is placed within these shapes.

Field ResearcherS corporation

FRSコーポレーション株式会社

CORPORATE PROFILE